

JAIA F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DE941GL

(複合パネル組立て用接着剤)

ダイアボンドDE941GLは、硬化膜が柔軟ではなく離強さに優れ、複合パネルの組立に適したノンホルムアルデヒド仕様の2液形常温硬化性エポキシ樹脂系接着剤です。

§ 用途

1. アルミハニカムパネル等のサンドイッチパネル
2. メタルオーバーレイ

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

	主 剤	硬化剤
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミド樹脂
外 観	淡青色	黄白色
不 揮 発 分 (%)	98 ± 1	97 ± 1
粘 度 (mPa·s) at20℃	25,000 ~ 50,000	15,000 ~ 30,000
混 合 比 (重量)	100 対 200	
可 使 時 間 (分) at20℃	40 ~ 50 [100g 混合]	
硬 化 時 間 (時間) at20℃	18 ~ 22	
保 証 期 間 (月) at25℃	12	

§ 温度と可使時間・硬化時間の関係

温度	可使時間 (100g 混合)	硬化時間
10 °C	60 ~ 80 分	30 ~ 36 時間
20 °C	40 ~ 50 分	18 ~ 22 時間
30 °C	20 ~ 30 分	12 ~ 14 時間
60 °C		1.5 ~ 2 時間

§ 使用方法

1. 前 処 理

被着材表面の錆やゴミ、水分、油汚れなどを除去し、清浄にします。
アルミニウム、ステンレスは接着面をサンディング処理 (#60 サンドペーパー相当) した後、アセトンを浸した布で拭きます。

 - * アルミニウムに関しては、鏡面がなくなるまでサンディングを行って下さい。
 - * 布はこまめに取り替えて下さい。
2. 計量・混合

事前に主剤と硬化剤各々を、缶の底に沈降物がなくなるまで攪拌して下さい。
攪拌機は、エアドリルを用いて下さい。
混合比は、主剤：硬化剤=1：2 (重量比)
攪拌混合は、攪拌機を上下に移動させながら、主剤・硬化剤が均一になるまで行って下さい。(2分間以上)
3. 塗 布

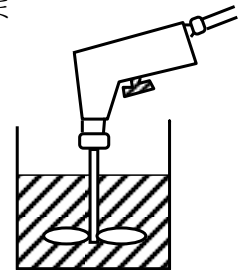
混合後の接着剤を可使時間以内に塗布して下さい。
塗布方法：クシゴテ、ロールコーター
塗布量：粗面 (ハニカムコアなど) の場合 500~600 g/m²
平滑面 (金属板など) 相互の場合 150~250 g/m²

 - * 塗布量は、均一に塗布された場合の理論量ですので実際には安全をみて多目に塗布して下さい。
4. 貼り合わせ

直ちに貼合せて下さい。
5. 加圧・養生

貼り合わせ後1時間以内にプレス養生して下さい。
プレス圧：0.02~0.05 MPa を標準としますが、被着材料に応じて決定して下さい。
養生条件：10℃×33時間、20℃×20時間、60℃×2時間

 - * 外気温10℃以下での加圧養生は接着不良となりますので、10℃以上に加熱し、加圧養生して下さい。
 - * 夕方にプレスして、翌朝プレス解除するためには、養生温度を20℃以上にして下さい。



§ 接着性能

1. 引張りせん断接着強さ (MPa)

	常態 (96時間)	耐熱 (80℃)	耐寒 (-20℃)
①アルミ板相互	10	3	13
②ステンレス板相互	9	3	14

塗布量：200 g/m²

試験方法：JIS K 6850 に準ずる

2. T形はく離接着強さ

(N/25mm)

	常態 (96時間)	耐熱 (80℃)	耐寒 (-20℃)
③アルミ板相互	79	27	30

塗布量 : 300 g/m²

試験方法 : JIS K6854 に準ずる

3. クライミングドラムピール

(Ncm/cm)

④ステンレス板/アルミコア/ステンレス板	28
⑤ステンレス板/ペーパーコア/ステンレス板	30

塗布量 : 500 g/m²

試験方法 : ASTM D 1781 に準ずる

被着材

- ①アルミ板 2.0 mm厚
- ②ステンレス板 1.5 mm厚
- ③アルミ板 0.5 mm厚
- ④ステンレス板 0.8 mm厚
- ⑤ステンレス板 0.8 mm厚

表面処理 : サンドペーパー#60 でサンディング後、アセトンに浸した綿布で拭く。

§ 注意事項

- ・使用可能時間は、気温や混合量によって異なります。混合量は、可使時間内に使い終える量にして下さい。
- ・保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・接着剤のはみ出し部は、硬化する前に取り除いて下さい。
- ・容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・使用器具の洗浄には、アセトンをご使用下さい。
- ・作業中は、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・取り扱い中は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクを付け、さらに頭巾、保護眼鏡、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋を着用して下さい。
- ・容器から出し入れする時は、こぼれないようにして下さい。容器からこぼれた場合には、布でふき取り、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- ・作業着などに付着した場合には、その汚れを良く落として下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診断を受けて下さい。

- ・ 蒸気，ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合は、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 指定された以外の材料と混合しないで下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。